



前進

第13号

2月28日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎カンボジア学校建設募金贈呈式及びカンボジア講演会

2月10日（金）に、竹崎町長様に来校いただき、カンボジア募金贈呈式を行いました。企画委員会が主体となって、今年もカンボジアに学校を建設するために募金を実施しました。各学年で工夫して松ぼっくりツリーや写真飾りなどを作成してご家庭へプレゼントし、募金に協力してもらう取組を行いました。ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。竹崎町長様からは、「佐敷小からスタートしたカンボジアに学校をつくろう運動は、フンセン首相を始めカンボジアの人々に大変感謝されています。いただいた募金は、学校設立のために大切に使用させていただきます。」との言葉をいただきました。



4時間目には、佐敷小学校が26年前、最初にカンボジア学校建設募金を始めたときに本校の6年生だった木ノ下様に、5・6年対象に講話をしていただきました。当時の様子を振り返り、カンボジアに学校をつくろう運動が始まったきっかけ、実際にカンボジアに行って感じたこと（特に学校に行きたくても行けない現地の子供と出会ったこと）、夢を持つことの大切さなど、たくさんのメッセージを伝えていただきました。



芦北町の人口が20000人程度の時代「芦北町の人に1人200円募金してもらえれば学校ができる。」と目標を持って取り組



んだことなど、子供たちが具体的に夢の実現に取り組むことの素晴らしさを教えていただきました。子供たちにとって大変有意義な1日だったと思います。

◎持久走大会頑張りました

1月末から2月上旬にかけて、各学年で持久走大会を実施しました。たくさんの方に応援いただき、本当にありがとうございました。応援を励みに、子供たちも全力で走れたと思います。

新型コロナウイルスの感染状況が予断を許さない時期でしたが、外での活動は密にならない状況でもあり、練習、そして大会が開催できて本当に良かったと思いました。ここ数年、子供たちが身体を動かす機会が減っており、体力の低下が心配されています。今後も工夫しながら体力向上に努めたいと考えています。



◎あいさつ運動の成果

企画委員会主催で、朝のあいさつ運動を1週間行いました。みんなで並んで行うあいさつはなかなかの迫力で、元気もらいます。

一方で、登校時のあいさつや、外部の方へのあいさつは「もう少し元気がほしいなあ。」と感じることもあります。一人や少人数になると、あいさつの声が小さくなるようです。今後もあいさつの大切さを伝えていこうと思います。

2月27日（月）は中学生が来校し、合同のあいさつ運動を行いました。中学生の堂々とした気持ちの良いあいさつは、佐敷小の子供たちの刺激になったことと思います。中学生が目指す姿を示してくれるので、自分の具体的な成長の姿をイメージすることができます。小中の交流は大切だなあと改めて実感しました。



【校長室から】2月25日（土）は、授業参観に多くの保護者の方に参加いただき、ありがとうございました。残念ながら学習発表会は開催できませんでしたが、授業の様子や学習したことの発表など、子供たちの様子をご覧いただけたかと思います。今年も新型コロナウイルスの影響を受けた1年でしたが、明るい兆しも見えてつあります。来年度の教育活動が充実するように、今年度の反省と準備を進めていきたいと思っています。